



よい会社、よい経営者、よい経営環境を目指す



危機的状況が
与えてくれた覚悟、
世界と並ぶ生ハムを目指す

【有限会社へんじんもっこ 代表取締役社長】 渡邊 省吾 氏 佐渡支部

佐渡から日本を代表し、
世界3大生ハムと並びたい

PROFILE

渡邊 省吾さん

有限会社へんじんもっこ 代表取締役社長

入社の経緯と入社後のギャップ

家業もあり、小学生の頃から漠然とドイツに行きたいと思っていました。学校の授業でソーセージ作りがあつて、完成品を持って帰ると父が褒めてくれたんです。それが成功体験になって、ドイツに行ってソーセージ作りを学びに行きたいと思い、高校を卒業してすぐに渡独。父の繋がりから、ドイツ在住の日本人の方に職場を紹介してもらいました。ドイツでは、専門職に就くためにはマイスター制度という国家資格「ゲゼレ(職人)」の取得が義務付けられており、3年間の座学と実習があります。その間、職業学校にも通いつつ、お店で実務を学びます。3年目の試験に合格すると一人前の職人と認められます。私は無事に資格を取得し、1年間職人として働いた後帰国へんじんもっこへ2001年に入社しました。

入社後、開発したソーセージをドイツで行われるSUEAという世界最高峰の食肉加工コンテストに出品したところ、総合優勝を受賞することができました。自分が作るものはクオリティが高いと証明されたような気がしましたが、日本で販売しても大きな売上には繋がらな

会社の事業内容、歴史

弊社は食肉加工業を営んでおり、ソーセージ、ハム、サラミの製造しています。それ以外に直営のレストラン、ジェラート販売をしております。創業は養鶏の仕事をした祖父で、卵と鶏肉を販売していたのが始まりです。1979年に父が精肉店をスタートしたのですが、スーパーが増えてきて価格競争になってきたことから食肉加工に業態を変化させてきました。法人化したのが1995年の事です。



- ① 製造の様子
- ② たまとろサラミ
- ③ 生ハム



かつたんです。そこから徐々にお客様のニーズに答えたものを作らないと、いくらクオリティが高くても買ってもらえないんだと思うようになりました。

ターニングポイントと同友会

経営的なターニングポイントはコロナ後。売上が0になれば、2ヶ月で倒産してしまうほどキャッシュがない危機的状況でした。これまで自分がちゃんと経営に向き合っていたことが、コロナ後に現れたんだと思います。振り返れば、その経験を通じて、価値観も変わりました。職人のプライドを持っていたからなのか、変なこだわりがあったのか。それがなくなっただけか、まずは売り上げを出して、会社を維持していかなければ、と感じました。金融機関からコロナ融資を受けたことで、少し心に余裕を持って、考えたり勉強する時間ができました。危機的状況は変わらないうえですが、物事の捉え方が変わり、その状況と向き合えるようになりました。佐渡金山が世界遺産登録になるという話に合わせて、佐渡金山らしい商品開発をしました。また、佐渡で活躍するYouTuberの方とコラボする機会もありました。コロナの時に、色々考える習慣がつき、勉強するようになったから、前向きに色々な行動をすることが出来ました。

同友会には2024年11月に入会しました。そのきっかけとなった広島島の川中さん(株)EVENZ(ETOS)の報告のあと、現地視察もさせてもらった時に決算書まで見せていただいて、「ここまで見せてくれるのか」と驚きました。会社の事ひとつひとつにきちんとしたロジックがあって、地域柄佐渡と繋がる部分もあって、とても勉強に

なりました。今まで「どうやって稼ぐ?」というようなお金の話は引かれてしまっているので、なかなかできないでいたけれど、同友会ではそういう話をしても受け入れてもらえて、私にとってはすごく魅力に感じました。また、今までインプットばかりしてきてたんですが、アウトプットができる場になっていることも、魅力の一つです。

今後の夢

日本から世界三大生ハム(イタリア、スペイン、中国)に肩を並べるハムを作り出したいと考えており、酒粕生ハムの商品化を目指しています。酒粕をお金かけて廃棄している酒蔵さんの事情を聴き、商品に使えたら、と考えたことがきっかけです。商品化が出来れば、日本中の酒蔵さんの酒粕問題が解決されるうえ、各々当地の生ハムが誕生すると思うんです。そうなら、すくく面白いのかなと思っています。日本全体で作れるようになれば、日本を代表する生ハムになれる、世界に届くような生ハムになるのかもしれない。自分の夢へのロードマップです。



渡邊さんの
会社は
コチラ!

有限会社へんじんもっこ

代表取締役社長: 渡邊 省吾 氏 (佐渡支部)
事業内容: 食肉加工 (ソーセージ、ハム、サラミの製造)、
レストラン デビコへんじんもっこ経営、
ジェラート店 マッテラート経営
住所: 佐渡市新穂北方548 TEL: 0259-22-2204
創業: 1979年 従業員数: 16名

支部・委員会・部会活動報告



7月例会の様子

燕支部

安心して参加できる支部へ!

皆さん、こんにちは。今年度より燕支部長を務めさせていただくことになりました。ミノル製作所株式会社の本多貴之です。

まず、燕支部の組織についてご紹介いたします。副支部長は4名おり、それぞれが1つのグループを担当しています。今年度は、各副支部長に「足早くZD&Sを会社へ置き換えて取り組んでもらいました。その結果、各グループが自分たちに足りない力・テクノロジーを見つけ、それを例会づくりに活かす形となっています。

各グループには、年間2回の例会を担当してもらいます。どちらも同じカテゴリで行いますが、2回目は1回目よりも内容をブラッシュアップしていただくようお願いしています。

もうひとつの取り組みとして、第4グループ（渡辺副支部長が担当）が、昨年に引き続き「新入会員オリエンテーションチーム」として活動します。新しく入会された方には、同友会の例会内容や、ZD&Sの使い方などを丁寧に説明し、安心して参加できるようサポートします。また、三条支部とのブロック例会も担当し、他支部との交流も深めていく予定です。

今年度は、これら2つの取り組みに力を入れて活動してまいります。新しい燕支部を、どうぞよろしくお願いいたします。

燕支部長 本多貴之（ミノル製作所株式会社取締役 燕支部）記



8月例会の様子

柏崎支部

輝き、輝かせる支部へ

2017年7月に柏崎支部が設立されてから少し時間が経ちました。この間同友会を通じて多くの方と出会い、様々な変化を体験することができました。特にオンラインを通じた本格的なディスカッションでの学びは「同友会ならでは」と思います。また、今年2025年、魚沼支部設立の準備に関わることができました。新支部設立に向けて力を合わせる体験は良い思い出になることでしょう。

新たな仲間と便利なツールを使って気付くのは「実際に会いに行く」ことの重要性。目的を明確に、じっくり例会づくりにエネルギーを注げる余裕が大切だと思います。リアルな交流はそれだけで価値が高く、10年先、20年先、多くの会員が全国からわざわざ出掛けたくなる柏崎支部を目指します。

今年の漢字「文字は「昭」を選びました。「照らす」「明らかにする」という意味。自発的に取り組む人が輝けるように「光」を当て続ける。太陽のような大きな存在に自分自身が成長したいという願いを込めました。

柏崎支部長 中村昭夫（コンタワークス株式会社代表取締役 柏崎支部）記

(一社)新潟県中小企業家同友会には5つの委員会・4つの部会があり、希望する会員は委員会・部会にいくつでも入ることが出来ます。合計9つの委員会部会は経営の課題ごとに分かれており、それぞれのテーマを専門的に学び、問題を解決していくところです。現場に直結した専門分野を深く学び、経営課題を解決するために共に学ぶ活動を行っています。



市長への表敬訪問

政策委員会

厳しい経営環境を経営実践と外部機関の連携で未来をつくる

今年度の政策委員会は昨年引き続き6月に実施した景況調査の結果を取りまとめ、会内外に発信し、私たち中小企業が抱える問題点、課題次のステージへ活かすことの実践を行っている他、8月には新潟日報経済部の記者の方々との懇親会を実施し、お互いのコミュニケーションを深める機会を持ちました。今後の新潟同友会の活動や発信を幅広く発信してもらう事、中小企業が抱える問題点を調べる上で先ずは新潟同友会に確認することが一番の近道という関係性を構築する活動を行っています。また、9月24日には香川同友会代表理事の林哲也氏に来県していただき『賃上げができる企業づくりの王道を進もう。最低賃金1500円時代、その先へ』というテーマで報告をしていただきます。毎年引き上げられている最低賃金ですが、私たち中小企業の経営者はこの現状をいかにして打開していくのか？他人事ではなく自分事として何を考えるのかを考え、実践につなげる例会を開催します。今から10年以上前から時給1500円時代が来る！その為に実践してきた林氏の報告です。今年度に限らず、毎年のように厳しい経営環境ですが、外部機関との連携を進め、自社の発展と働く社員さんの未来、笑顔の見える経営実践の為に考えた活動を進めていきます。

政策委員長 宮崎 伸洋(株)給材 代表取締役 新潟支部イースト地区) 記



障害者問題委員会
in新潟
登壇する新潟メンバー

ソーシャルビジネス部会

中同協 障害者問題委員会 in新潟を開催!

障害者問題委員会in新潟
当日の様子

2年前、愛知での障全交に参加した際に、現中同協事務局長の池田さんから「今年度新潟で障害者問題委員会の開催したらどう？」とお声掛けをいただき、満を持しての今年7月。全国から中同協の障害者問題委員会の皆さまが新潟に来てくださいました。そんなまたとないチャンスで、私は報告をさせてもらう機会も頂きました。新潟が誇る国内最高峰の就労支援事業所(澤口卓さん 和楽亭 新潟支部セントラル地区)の視察も含め、とても良い機会になったと思っています。また、各支部との例会でコラボしたり、障害福祉系の例会を積極的に開催してきました。理事役員研修においても、エイベックス(株)の加藤会長から『人間尊重の経営』が同友会3つの理念の根本になるとの報告をいただき、改めて我々が担っている役割の重要さを再認識しました。

私が今年度掲げた「文字は『大』です。右腕社員に「俺をイメージした漢字」文字って何？」と聞いたら、即答で「今年で言うなら『大』ですね!10周年の飛躍の年、社会を変える大きな一歩、40歳の舞台...」そんな風に言ってくれる社員たちや、そんな社会を一緒に創っていく同友会の仲間たちとこれからも進み続けたいと強く思います。今年は青森での障全交にも参加しますが、県内での気運を高めていき、いつか新潟でも開催したいと考えています。

ソーシャルビジネス部会長 小林 俊介(株)With You 代表取締役社長 柏崎支部) 記

《新入会員紹介》

入会おめでとうございます。新しく入会された会員を紹介します。》

①役職 ②業務内容 ③支部 ④入会日 ⑤紹介者



はせがわ てつかず

長谷川 哲和

(株)和田挽物

- ①代表取締役
- ②CNC自動旋盤と手作業による部品加工及び商品のとりまとめ
- ③燕支部
- ④2025年3月26日 入会
- ⑤本多貴之

株和田挽物の長谷川哲和と申します。燕市でCNC自動旋盤を活用して手のひらサイズの金属部品を製造しております。新たな出会いと学び、そして交流が楽しく入会をしました。今後とも宜しくお願いします！



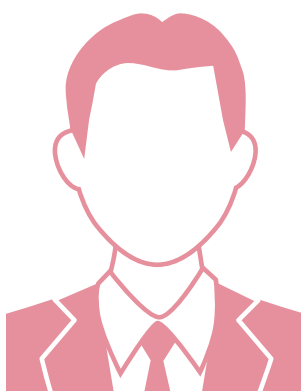
さいとう ひろふみ

齋藤 啓史

(株)新武

- ①常務取締役
- ②プレス金型の設計・政策、治工具制作、部品加工を行う金型メーカー
- ③燕支部
- ④2025年3月27日 入会
- ⑤本多貴之

株式会社新武の齋藤啓史と申します。ミノル製作所の本多さんの紹介で燕支部に入会しました。2023年6月に家族が経営する当社に転職し、様々な課題にぶつかる日々です。様々な業種の経営者の方と交流することで、課題解決のヒントを得て、会社・自分の成長につなげていきたいと考えております。どうぞ宜しくお願いします！



うすき ただし

薄木 正

Freedom Base

- ①代表
- ②自然栽培の農園運営と佐渡食材の販売、YOMOブランドでの佐渡さん食材使用焼き菓子製造販売
- ③佐渡支部
- ④2025年3月28日 入会
- ⑤柴原健司

佐渡支部に入会しましたFreedom/Baseの薄木正と申します。佐渡で農園経営と佐渡食材使用の焼き菓子製造販売、島内の食材加工品の卸し等を行っています。交流を深めていきたいので宜しくお願いいたします。



こんどう ひさつぐ

近藤 久嗣

千手経済(株)

- ①代表取締役
- ②不動産賃貸・管理業
- ③長岡支部
- ④2025年3月31日 入会
- ⑤高橋徳久

千手経済株式会社の近藤久嗣と申します。長岡市で不動産賃貸、管理業をしています。様々な業種の皆様と交流を持たせていただき、色々な経験をさせていただけたらと思います。これからどうぞ宜しくお願いいたします。



やまぐち ともゆき

山口 智之

(株)YAMABE新潟オフィス

- ①新潟オフィス代表
- ②事務機器販売・メンテナンス、各種ソフト、セキュリティ機器販売
- ③新潟支部
- ④2025年5月19日 入会
- ⑤事務局

新潟市セントラル地区に入会しました、株式会社YAMABEの山口智之です。中央区山二ツにて情報機器販売・メンテナンス等を営んでおります。本社は富山にあり、新潟オフィスは今年5月にできた支店となります。私自身は同友会の参加は初めてになります。皆様どうぞ宜しくお願いいたします。



おくの なおと

奥野 直人

なにわ茶屋

- ①代表
- ②飲食サービス提供業(地元の食材を活かした和食中心の料理提供)
- ③柏崎支部
- ④2025年6月16日 入会
- ⑤奥野真理香

南魚沼市で創業55年の飲食店「なにわ茶屋」の3代目代表しております、奥野直人と申します。経営を学ぶために入会させていただきました、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。



山口智之さん



平川幸男さん

私とお話しませんか？

会員交流の館

会員が「今一番会いたい、話を聞きたい」会員を訪問するコーナー。

今月号は新潟支部セントラル地区の山口智之さん(株)YAMABE 新潟オフィスと、新潟支部イースト地区の平川幸男さん(すみれ建装株)のお二人の対談の様子をお届けいたします。

vol.25

平川…先日開催された広報情報化委員会にて、山口さんのお話が気になって、せっかくなのでこのコーナーでぜひお話ししたいと思いお伺いしました。改めて、会社のお話から教えてもらえますか？

山口…ご訪問いただきありがとうございます。弊社はオフィス向けの複合機、IT機器関係の製品販売や、関連する補助金活用相談等、企業を中心としたオフィス周りのサポートを行っています。本社は富山県高岡市にあり、実はこの5月にM&Aで新潟オフィスと



してスタートを切りました。平川…その辺り(M&A)について話せる範囲で経緯を教えてください。山口…私は「新潟オフィス代表」を務めています。YAMABEの既存社員ではなく、元々は秋葉区にある同業の企業に勤めていました。会社がZ&Aを利用することになり、その該当部門をYAMABEの新潟オフィスとして5月に開設しました。同友会は本社が富山同友会に入会しており、新潟オフィスの開設にあたり入会の話があり、よくわからないまま入会することになりました(笑)。

あっても、この地域では新しい会社です。厳しい業界で、企業数が減っている背景がある中で、長く地域で活躍し、頼られる企業でありたいと思っています。平川…こういったお話を聞ける機会はありませんので、すごく勉強になります。最後に、山口さんが大切にしていることがあれば教えてください。山口…弊社の仕事の大半は、企業のDX化等に関わる仕事です。効率化のための機器、システムを生業としていますが、その過程にはどこかで必ず人と人が繋がる仕事です。その縁を大切にしながら続けていきたいと考えています。

対談者

企業：(株)YAMABE 新潟オフィス
新潟オフィス代表：山口 智之 氏(新潟支部セントラル地区)
事業内容：事務機器販売・メンテナンス、各種ソフト、セキュリティ機器販売

企業：すみれ建装(株)
代表取締役：平川 幸男 氏(新潟支部イースト地区)
事業内容：一般住宅・AP・事務所・工場の塗り替え塗装専門店。特殊高圧洗浄(エコロビーム新潟)

例会や行事の報告など、情報共有の場としてフリーテーマで同友会の情報を発信します。

第28回女性経営者全国交流会in東京 参加者レポート



第4分科会集合写真

2025年9月4・5日(木・金)に、京王プラザホテルにて、第28回女性経営者全国交流会(以下女全交)が開催されました。新潟同友会からは21名が参加し、奥野真理香さん(なにわ茶屋 女将 柏崎支部 魚沼支部 準備会)が第4分科会報告者として報告されました。第4分科会参加者を含む3名の感想をご紹介します。

ECアシスト&パートナーズ
代表 草間 光夫氏
(新潟支部セントラル地区)

第4分科会に参加して「なにわ茶屋」女将・奥野真理香さんのご報告を伺いました。特に心に残ったのは「人を尊重するに、まず自分からさらけ出す」という言葉です。障がいを持つ友人との出会いを原点に、ソーシャルワーカーの経験を事業に生かし、障がいをもちの人が安心して働ける場を創ろうと想い、まず自社において実践している話に共感いたしました。私が参加した第4グループからも、社員との関わり方に悩む女性経営者さんがいて、奥野さんの話から「自分の想いを開示することが、相手を認め合う第一歩」だと気づかされたとおっしゃっていました。誰もがやりがいを持って働ける環境づくりは、規模や業種を

問わず経営者に共通する課題だと感じます。グループ討論においても「二人ひとり考え方が違う。その違いを認める。認め合うために話すのだ」と自然にまとまり、場所や環境は違っても経験を基にした話を通して互いに自分の率直な意見を出し合いながら、初めて話す人の心の中にその方が歩んできた時間と向き合った想いの深さに触れることができ、とても深い学びを得られた初めての女全交でした。

(株)西武商会
代表取締役副社長 木村 由美氏
(新潟支部セントラル地区)

久しぶりの女全交参加でした。赤城フーズ(株)代表取締役 遠山昌子(群馬同友会)氏報告の第6分科会に参加しました。「見方を変えれば、今ある物が再生の力になる」。の言葉がすごく衝撃的でした。経営者それぞれの方、見方、決断の仕方、は違えど自社の基本となる物(製品、情報等)が何か?を経営者はしっかりと把握し自身をもつて発信することでした。赤城フーズの復活はひとつの取り組みでできたのではなく、たくさん取り組みが重なり合って今がある。自社の強みを信じてひたすら発信してきた結果、入社して20年の今年、大きく花が開いたと言った事ではないと思います。花が咲くまでの種まき、水分、栄養補給、環境作り等:でも私

達には、つますいた時、方向を見失ったときの、同友会という素敵な場所(道しるべ)素敵な仲間たち(それぞれの特徴)がいる事に感謝です。久しぶりの全国大会に参加して、感じた事は年月が過ぎるとマンネリ化し、色も薄れていく。(方向性、理念)これからは理念をしっかりと抱えて承継をし、経営者が自分色を見つけてそれが交わりみんな色(自社色)にして地域で咲きほこれる会社になりたいと思います。

(株)給材
代表取締役 宮崎 伸洋氏
(新潟支部イースト地区)

(株)デリモを訪問する移動分科会に参加しました。(株)デリモさんの業務内容は調理麺キットの製造販売なのですが、先ずはその規模にびっくりさせられました。一日10万食、年商70億です。工場は埼玉県で人手不足の状況から機械化が進んでいるのだろうという推測とは真逆のアナログ現場でした。この時代にこれだけの人を集める事ができるのか?外国人が多いがコミュニケーションと定着は?など自社のこれから参考となる事が多々ありました。その中でも、社内共有チームの椿さんの「人を大切に」する企業文化と成長戦略についての報告に多くの学びがありました。とても書ききれないほどの取組を社員が中心となり実践しており、同友会での学び実践も多かったです。最後に、一日10万食の食を提供しているが私たちは、お客様一人の商品づくり、たった二つの商品を作っています。「1/1の食事とは、大切な命を支える食事」この言葉はあらゆる仕事に共通する忘れはならない事だと強く共感しました。

編集後記

久しぶりに佐渡へ行ってきました。佐渡での経営者交流会、翌日に佐渡支部の会員企業へ2社、取材をさせていただきました。お二人とも初めてお会いして、色々な話を聴かせていただきました。共通して、『覚悟』の話がありました。コロナ、地震と、様々な出来事がありながらも、現状と向き合い、前向きに物事をとらえて進んでいく話に、私だったらどう思う風に考え、行動したんだろうと色々な気づきを頂けた取材になりました。大変ありがとうございました。『感謝』。

(株)シナゼン 代表取締役 品田敦司
(新潟支部セントラル地区) 記

DO YOU KNOW? にいがた

2025年10月1日号

一般社団法人 新潟県中小企業家同友会
広報情報化委員会

住所: 〒950-0901 新潟市中央区弁天1丁目1-16 サンテラス石宮2-A

TEL: 025-288-1225 FAX: 025-288-1226

E-mail: info@niigatadoyu.jp

HP: https://www.niigatadoyu.jp/

頒価250円(年間3,000円・送料別) 会員の購読料は会費に含まれます。